

2013年6月4日/千葉大学附属図書館Ⅰ棟1階コンテンツスタジオ
2013年度アカデミック・リンク・セミナー(第1回)
「アカデミック・リンクはどこまで進んだか」参加者アンケート集計結果
当日参加者数：52名 アンケート提出数：44件

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・Moodle+ You tube の授業配信。
- ・オフレコカードが面白かった。
- ・ALSA の有効性。
- ・学習相談の学年別比率の二極化。
- ・学生の意見ヒアリングは新鮮でした。
- ・電子化への取り組み。
- ・Moodle の運用・公開。
- ・学生スタッフの活動について。
- ・どの活動も大変興味深いものでした。待っているだけではなくこちらから(=図書館から)働きかける姿勢を見習いたいと思います。
- ・あかりんアワー大変参考になりました。学生と職員が接する良い機会と思います。
- ・貴センターの活動・課題が良くわかりました。また、図書館員の方々が積極的にかかわっている姿を拝見し感動しました。
- ・アカデミック・リンクでの取り組みが網羅的に紹介されてそれぞれ参考になりました。特に人的取り組み、学生あるいは教員との協力体制については、自館でも今後の参考とさせていただきたいと思いました。
- ・アカデミック・リンクが具体的にどのような活動をしているのかがよくわかりました。特に学習支援の取り組みについて、図書館員と教員と学生のつながりが深く一方向からの押し付けでない点が非常に勉強になりました。アカデミック・リンクという名にふさわしい図書館だと思いました。
- ・アカデミック・リンクの成果を知ることができて良かったです。ありがとうございました。
- ・本学も、同じように、教員に講演をしていただいたりガイダンスをしていただいたり図書館でやり始めましたので、とても参考になりました。
- ・アカデミック・リンクの各空間が、有機的に結びついている様子がよくわかりました。
- ・学生の活用、学生と教職員の距離を縮める取り組み。
- ・教職協働がうまくいっているところ。
- ・学生がグループ学習に参加していること。場所が重要と思われる。
- ・グループ学習をする場合は各学部では用意されていないのか？
- ・大変勉強になりました。N棟を見学して、学生は元気だな(かなりうるさい)と思いました。場所は分けなければいけないと実感しました。
- ・各プロジェクトで実施されている活動内容。
- ・教員と職員協働の取り組みとその効果について、実例を交えての発表が参考になりました。
- ・学習・情報利用行動実態調査において、学生の生の声なども採っておられ、大変参考になりました。
- ・大変立派な図書館を立ち上げただけでなく、多角的に成果を検証されているのですばらしいと感じました。
- ・ブックツリーが1Fだけでなく全フロアにあって、構造物を支えている柱だということ。
- ・アカデミック・リンク・センターのスペースをどのように運営されているか、授業資料ナビゲーターについても、かなり具体的に理解することができました。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・学生が自主的に行っている例が多数あることが分かった。
- ・学生の学び方が変わってそれにより教員の教え方が変わるという事象が、印象的で新鮮でした。
- ・あかりんアワーにより、学生に学びのチャンスが広がっている点がすばらしい。
- ・それぞれ具体的に解説され、状況、状態がわかり大変参考になった。面白く何とか応用できないかと思っています。
- ・教員と図書館員の協働がとても深く広くなされていて、機能的に働いているのがよくわかりました。
- ・“見える”事が今まで想定していたよりも大きな影響がある事。
- ・やっている事の分析、振り返りの大切さ。
- ・今でも様々な取り組みが続いている、始まっていて、まだまだ活気があり素晴らしいと思いました。
- ・静寂エリアと会話可能エリア、両方を学生は求めているという調査結果を見て、学生によって求める場所は様々であり、アカデミック・リンク・センターの LKNI のそれぞれの棟のコンセプトは千葉大の学生にとってとても正しいものなのか、と思いました。学生の使い方を常に調査分析していて、とても感心しました。千葉大生がうらやましいです！
- ・学生の利用をいろいろな手法でとらえようとしていること。
- ・積極的に図書館スタッフが授業支援に取り組んでいることがよくわかりました。
- ・学生パワーを上手に活用し、協働していることに感銘しました。
- ・Moodle の活用、図書館広報、利用者教育に利用できないか検討してみたい。
- ・大学学習資源利用モデル研究会の活動について、著作権の問題についてはさけて通れないため、活動に期待しています。
- ・電子媒体が増えリモート利用が可能になったが、人が集まる図書館はスペースをいかに作るかで実現できる。
- ・1210 あかりんアワーで、教員以外もスピーカーになっていること。
- ・図書館利活用の新しい形態が、具体的なイメージとして理解できた。
- ・現職で初めて図書館を担当しています。本学と貴学との体制・施設の違いが大きいことが分かりました。
- ・大学としての学生サービスの一環への取り組みの違いも大きい。
- ・「待つ」のではなく「仕掛ける」図書館など、学生たちが集まるためのプログラムが数多く、教員のチームとともに有機的に動いていることが判りました。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・レガシーコンテンツプロジェクトの進展。いつできるのか？
- ・千葉大学内で使用されている「授業資料ナビ」「Moodle」が具体的に何なのか、学外者にもわかるような資料がほしかった。たとえば現物を配信するのか、実際に画面にうつすなどしていただけるとありがたいです。
- ・教職協働、教員の活動への巻き込みについてももう少し深く聞いてみたかった。例えば教員の協力を得るのに御苦労されたところなど。→質問でご回答いただきありがとうございます。
- ・Moodle について詳しく知りたいと思いました。レガシーコンテンツ再生についても、費用のことなども含め非常に興味があります。
- ・アカデミック・リンク・センターと図書館がイコールなのかがわからなかったのですが、質疑応答でよくわかりました。
- ・大学資源モデル研究会についてもっと詳しくききたい。ガイドラインを定めても、著作権法とどのように整合できるのかを知りたい。
- ・ALSA の育成、研修・活動についてももう少し詳しく伺いたかったです。また、専任職員の方は通常業務との兼ね合いをどのようにしていらっしゃるのか、具体的な事をもう少し伺えればと思いました。

2. 本日のセミナーでよくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・新しいことを色々始められた一方で、切り捨てたものは何だったのかを知りたいです。(たとえば業務の効率化のために何を削減したか、など。)
- ・あかりんアワーで紹介された図書のブックツリーについて、どの程度の利用があるのか。
- ・学生が ALC について不満に思っている事はどんなことがあるのか。
- ・教員にお願いするにあたって、どういうふうに関心したのか。学部で話を聞いて行ったのか、くわしく教えていただきましたか。
- ・学生相談を増加させるにあたり必要なこと、今後増加させたい又は改善したい空間的要件。
- ・POD の導入、活用についての意義について。
- ・著作権処理の問題について、授業録画、配信で具体的にどのように処理したのか、どの程度処理が必要になったのか、どのような問題に直面したのかが示されなかったことが残念でした。
- ・基礎科目の授業資料に対して教員にどのような働きかけを行っているのか？
- ・静かに自習するためのスペース (例えば国家試験の受験用) はどの程度用意されているのか。
- ・教員は図書館に足を運ぶ機会が非常に減っている。教員を呼びこんでいる効果はあるのか。
- ・コンテンツ、人的サポート、空間の提供の相互関係。
- ・ALSA の人選方法、人の集め方。
- ・著作権問題は3、4年前と比較して話の内容が変わっていない。
- ・分館の業務がどのようなものかわからなかった。
- ・ALSA-LS の方々への研修、育成の工夫、内容、レポート作成セミナーに図書館員や ALSA が加わったことによる効果→質問させていただきました。
- ・著作権処理についてももう少し詳しくききたかったです。
- ・見学会の冒頭の竹内先生のイントロダクションのところ、現在進行中のプロジェクトについても簡単にお話がありましたが、その時「新しい図書館員プロジェクト」について、「教員と職員の間のような専門職の人材育成」といった話だと思いましたが、セミナーの中での発表内容とうまく結びつきませんでした。「新しい図書館員」を育成するためのプロジェクトかと思ったのですが違ったのかなど。
- ・職員の業務負荷は大丈夫なのでしょうか。
- ・図書館の事務局の体制と教務系の部局との連携の度合？
- ・学習支援 (ライティングサポート) の部局は他にあるか？
- ・ALSA の学生はボランティアでしょうか、千葉大学で雇用されているのでしょうか。
- ・授業資料ナビゲータは、教員と図書館員で作成のようですが、学習要領ポータルや学務部との連携はどのようになっていますか？
- ・Moodle の視聴の統計は、教員の評価に使われたりしないのか。
- ・アクティブ・ラーニング・スペースを設けたことで図書館入場者数はどうなっているのでしょうか？
- ・あかりんアワーに現在切れ目がない、とのことでしたが、これらはプレゼンター側から企画申込みが来るのでしょうか？図書館側から企画をたてて、プレゼンターに参加依頼をされているのでしょうか？

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・海外や他大学事例の紹介。
- ・学生スタッフの活動、学生スタッフの声、意見について。
- ・千葉大学で取り組んでいる様々なプロジェクトをご紹介いただきありがとうございました。今回予算面の話がなかったようなので、経費についてもとりあげていただきたいと思います。運営費のみ？外部資金などもあるのでしょうか？

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・待つ図書館ではなく発信する図書館のありかたについてお話を伺いたいと思いました。
- ・情報利用定観測プロジェクトの結果を知りたいです。
- ・5つの調査の集計結果。
- ・ALSA 経験者の学生の話を知りたい。
- ・他大学の例ですが、アクティブラーニングやラーニングコモンズ（言葉の使い方に問題があるかもしれませんが）など、学生のグループ学習、自発的学習の取り組みに非協力的な教員の方がおられるときいております。千葉大学さまはどのようにして教員の方を巻き込んでいかれているのでしょうか？
- ・電子書籍について、内外出版物について利用、活用状況を含めシンポジウムを希望。
- ・実際に協働された教員と学生の方のお話を聞いてみたいです。
- ・行われた5つの調査の分析が終わられたら、また詳しく結果をお聞きしたいです。
- ・徳島大学 佐々木奈三江さん。（朝日新聞でも取り上げられている、学修サポート等活発。）
- ・今回統計中とされていた、学生の行動のまとめについて。
- ・Web を始めとした様々なツールでの図書館広報資料の作成に関すること。
- ・利用者教員の教材作成に関すること。
- ・理系分野での教育支援を企画。
- ・5つの調査の結果と分析。
- ・「レガシーコンテンツ再生」プロジェクトなど、急速に増加する AV 資料や劣化資料の「再生」をテーマにしたシンポジウムやセミナーなど。
- ・ALSA の育成と活動について。

4. 本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・この様なイベントをぜひ開催してほしい。ぜひ参加したいと思う。
- ・図書館スタッフ全員が登壇者という趣向は面白い。
- ・とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・本日(6/4)、不発弾処理のため、交通の面で千葉に来るまで大変苦勞しました。日程設定の際、配慮した設定をしていただくようお願いします。
- ・館内見学 12 名まで、とのことでしたが、人数制限せず対応していただきたいです。
- ・内容が盛りだくさんで大変参考になりました。継続的に活動、学生への教育効果をお伺いしたいです。
- ・内容ではなく、方式について。図書館スタッフがプレゼンテーション技術を身につけるために有効な方法だと実感しました。反面、学外からの聴衆を集めるのであれば、もう少し内容をまとめていただき話者のレベルも底上げが必要と感じました。
- ・ブックツリーと授業資料ナビゲータについては、以前からこのようなシステムがあれば良いなと思っていたので我が意を得たり、という気持ちです。
- ・あかりんアワーもすばらしいアイデアです。肩肘張らない学問の入り口になると思います。
- ・図書館職員が話すという企画はなかなかおもしろかった。
- ・職員の皆さんが発表しているのがすごく良いと思いました。図書館以外の事務系職員にもこういう空気とか手法を取り入れられたらいいと思いました。
- ・松戸・亥鼻について今後どう展開していくのかも気になりました。（教員や学生から西千葉との格差を訴える声を聞いたことがあるので。）
- ・アカデミック・リンク・センターでの活動の概要がよくわかりました。

4. 本日のセミナーの内容について等、その他、自由にご意見をお書きください。

- ・図書館職員の「顔」が見られてよかったです。(いつも竹内先生ばかりでしたから。)勉強になりました。ヒントをいただきました。
- ・おつかれさまでした。
- ・興味深い話をたくさんありがとうございました。
- ・実践を多数おきかせただけで参加してよかったです。図書館施設もすばらしいと思いました。
- ・大変参考になりました。
- ・千葉大学さまのメンバーの方が一致して目標に向かっていく姿を拝見するにつけ敬意を表します。
- ・図書館総合展などで何度かお話を伺っていましたが、今日やっとこの目で見学できて嬉しかったです。皆様、本当にありがとうございました。
- ・振り返り会の「自主的な学習姿勢がなく・・・」の学生への対応は？
- ・教員と図書館員との協力関係が深まっている点が印象的でした。特に Moodle の運用、授業資料ナビ、あかりんアワー等。職員の方々が教育・学習支援に深く踏み込んでいく先進的な取り組みに感服しました。
- ・たいへん盛りだくさんな内容で整理に時間がかかりそうですが、所属館の業務に役立てていきたいと思いません。
- ・図書館職員の方全員がお話されるというのが新しい形式でとてもおもしろかったです。
- ・充実したセミナー誠にありがとうございました。私大では同じ形にはなりませんが、結果的に学生の学びが盛んになるように、様々な部署と連携して取り組んでまいります。
- ・いろいろとお伺いしているうち、自館でもやってみたいアイデアがうかんできました。こういう刺激はとても有用です。ありがとうございました。
- ・ブックツリーとてもよかったです。
- ・今後の活動も楽しみにしています。
- ・見学の時間が実質20分しかなかったのが残念でした。
- ・色々な取り組みについて、非常に勉強になりました。またいつ話を聞いても千葉大学は「着実に前進している」など、うらやましいです。ありがとうございました。
- ・2時間通してセミナーを聞くのはかなり集中力をもたせるのが大変かと思います。
- ・ありがとうございました。日常業務でご多忙だと思います。準備、登壇された図書館員のスタッフの方に感謝いたします。
- ・大変刺激になりました。日常業務に応用させていただきます。ありがとうございました。
- ・席取りや注意するポスター等を見かけなかったが、利用者マナーアップに向けてどのようなアプローチをしていますか？
- ・学部生だけでなく、院生の存在は大きいと思う。
- ・学生の利用率が高いのに驚いた。(個人、グループを問わず)能動的な学習が実践されているのを感じた。
- ・施設の良さはもちろんですが、多岐にわたる図書館の規模が比較になりませんが是非参考にさせていただきたいと思えます。
- ・今回のセミナーでも使われていた言葉でしたが、図書館の職員のみなさま+千葉大教員のみなさま+学生+αの力が「走っている」のがとてもよく伝わりました。1つ1つの準備が大変だと思いますが、通常業務とのバランスを取りながらの運営、今後とても期待しています。
- ・それぞれの業務の担当の方が発表されたのは、とてもわかりやすくよかったですのですが、発表者が多すぎて多少散漫な印象を受けました。項目 2)~4)は各一人がまとめて発表した方がよかったですのではないのでしょうか。

5. 次の(1)、(2)について、該当するものに○をつけてください。

(1) a. 学外から参加 40名 b. 学内からの参加 4名

(2) a. 学生 0名 b. 教員 3名 c. 大学職員(図書館職員を除く) 4名 d. 図書館職員 26名
e. 出版関係 1名 f. その他 9名 無回答 1名

6. セミナーを何で知りましたか？

a. Web (アカデミック・リンク・センター) 8名 b. Web (図書館) 4名 c. Web (千葉大学) 0名

d. 図書館内電子掲示 0名 e. ポスター 1名 f. センターからのメール 15名

g. Facebook・Twitter 2名 h. その他 14名 (国大図協、私大図協からの通知) 無回答 1名

※複数回答あり

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前：()

ご所属：()

電子メールアドレス： 申込時に申請したもの それ以外()

ご協力ありがとうございました。

※24名が新規に継続的な情報提供を希望